

詩を得たり。

無涯大漠欲黄昏

碧際幽看雪嶺光

願叫起來平相國

一揮軍扇返斜陽

二十九日長流水チャンリウスイに泊す行程約十里。附近に蘆及楊柳の亭々たるは、久しく樹木

を見ざりし眼に、頗る珍らしく感ぜられたり。三十日黃蘆崗ホワンルーカンに投宿行程約十里。

此地野柳、水柳、蘆の類繁茂し、且つ數畝の耕地をさへ有して、七八石許の穀物を獲と。

安西出發以來、日を重ねること十日、行程約百二十五里にして、一月三十一日新疆

省の一都會、哈密、黃蘆崗を距る約十里に着す。渺々際なき海洋上、連日一樣の眺め

に厭きし者、一朝港灣に投錨せし時の欣喜も恐らく予が此時に於ける快感には如

かざるべしと信ず。

聞く是等沙漠の地を往來する者、春冬の兩季最も多く、而して夏季は、蠅、蛇の煩に

堪へずと云ふ。

五、哈密

地形

哈密は東經九十三度、北緯四十二度四十五分、即ち天山南路の最東、大戈壁の東北

港灣投錨
の思